

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/11/18号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



需給緩和見通しで上値重い展開

NY原油先物相場は、1バレル=60ドル台後半で上値の重い展開になった。中東情勢に目立った動きが見られない中、改めて需給緩和見通しを織り込む動きが優勢になっている。石油輸出国機構（OPEC）が世界石油需要見通しを引き下げたこと、国際エネルギー機関（IEA）が来年の供給過剰見通しを示したことなどが、需給緩和見通しの強化に直結した。ドル高環境、トランプ米次期政権の下で米国内での原油増産が進むとの見方もネガティブ。10月29日以来の安値を更新した。

IEAは10月14日に発表した最新の月報で、2025年はOPECプラスが減産体制を維持しても、日量100万バレルを超える供給過剰になるとの見通しを示した。中国などの需要環境が悪化する一方、OPECプラス以外からの増産圧力が強くなっている影響が指摘されている。地政学リスクで不安定化していた原油市場に、ようやく安定がもたらされるとの見通しが示されている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（11月8日時点）は、原油が前週比209万バレル増、ガソリンが441万バレル減、石油精製品が139万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

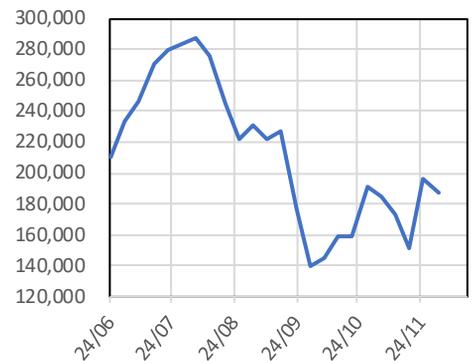
需給緩和見通しの強化で戻り売り、年初来安値更新の可能性も

需給緩和見通しの織り込みで、上値の重い展開が続きやすい。年初来安値（65.72ドル）に近づく中で安値修正の動きも想定されるが、戻り売り優勢の地合を崩すのは難しい。今週は特に大きなイベントなどは予定されていないが、前週に国際エネルギー機関（IEA）が大幅な供給過剰見通しを示したこともあり、上値の重さが維持されやすい。10～12月期は供給過剰になる可能性が高まっている。特に米原油在庫の積み増しが進む、為替がドル高に振れるといった動きが見られると、年初来安値更新の可能性も想定しておく必要がある。

反発リスクとしては、引き続き中東情勢に注意が求められる。警戒されていた米大統領選前後のイランによるイスラエル攻撃は見送られているが、改めて緊張感を高めるような動きが見られると、70ドル水準を打診する可能性はある。今後も「需給緩和見通しの売り」と「地政学リスクの買い」が交錯する不安定な地合が続く見通し。ただし、イラン産原油の供給リスクを高めるような動きがみられなければ、地政学リスク主導の上昇余地は乏しい。

米大統領選でトランプ元大統領が勝利したが、原油市場では主に米国内の原油増産リスクとして消化されている。トランプ氏は、原油コストの軽減による米経済成長加速を促す方針であり、バイデン政権下で導入された各種規制の緩和、コスト高の解消などが予想されている。既に米環境保護局（EPA）長官人事では、「エネルギー分野での米国の優位性を復活させる」としているゼルディン元下院議員の起用が決まっており、バイオ燃料市場の成長鈍化懸念が穀物相場の上値を圧迫している。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



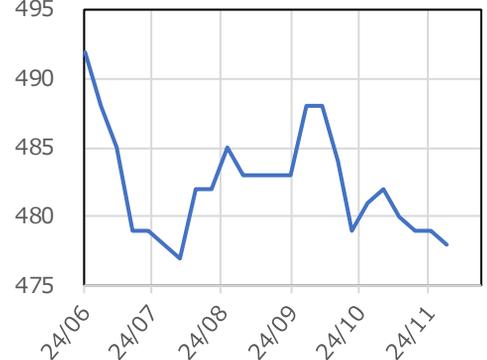
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

